

第3学年3組 学級活動指導案

北九州市立青葉小学校

1 題材名 「いいところみつけをしよう」

2 題材設定の理由

○児童の実態

児童は、1学期に行った対人スキルの「あったか言葉をふやそう」の学習で、「すごいね」「がんばったね」など友達に認められる言葉に喜びやうれしさを感じており、「あったか言葉」を増やしていくことを目標としてきた。QUでは、28人中17人が学級満足生活群、4人が非承認群、3人が侵害行為認知群、4人が学級生活不満足群に入っていた。非承認群や学級生活不満足群の児童と話したところ、友達に短所を指摘された経験をもっていたり、自分の気持ちを相手に伝えることが苦手であったりすることが分かった。これらのことより、子ども自身がお互いを認め合って、伝え合う「いいところみつけ」の活動は、効果的であると考えられる。

○題材の特徴

ギャングエイジと呼ばれる活発な子どもたち、日常生活や学習、遊びにと元気に学校生活を送る年代である。自己中心的な言動も見られるが、徐々に他者の存在を認め、他者とよりよいかかわり合えるようになってくる時期でもある。また、友達のよさを認めたり、友達の親切に感謝したりする気持ちなどももてるようになる。そこで、本学習では、友達のよさや特長を見つける活動を通して、他者理解能力を育てていきたい。また、他者のよさや特長を見つけ、理解し、認めようとする学習は、他者を尊重しようとする心情を養っていくことができる。さらに、他者から自分のよさや特長を評価されることで他者から認められているという喜びになり、自己存在感や自己有用感をはぐくむ活動である。

○指導に当たって

児童は今まで、帰りの会などで友達のがんばりやよいところを出し合い、お互いのよさやがんばりを認める活動をしてきた。本時学習では、まずグループの友達のよいところを「いいところみつけ」シートに書いていく。その際に、自分が書いたところを隠しながら次の友達に渡していくことで、期待感をもたせたい。また、事前に活動の約束を確認したり、「いいところみつけ」の視点を明確にしたりすることで、すべての児童がプラスのコメントを得られるように配慮する。その後、書いてもらったことの中から一つ、自分に合うよいところを選んで紹介する。全員が発表することで、お互いを認め合う活動であることを再認識させ、一人一人のよさをクラス全員で共有させたい。

3 事前・事後の活動計画

事前	本時	事後
帰りの会で、頑張っていた友達や、友達のよいところを見つけて発表する。	友達のよいところや好きなどころを書き、相互に渡し合うことで、自分自身の価値を再認識させ、自尊感情を高める。	「いいところみつけ」を続け、さらによりよい自分、よりよいクラスにしていく意欲を持たせる。

4 本時の活動

(1) 日時 10月 18 日 (金) 第5校時 於：3年3組教室

(2) ねらい

友達の長所を教え合う活動を通して、自己肯定の気持ちを育てる。

(3) 準備物

約束の紙、「いいところみつけ」の視点（黒板掲示用）、

「いいところみつけ」シート、

発表用シート、ふり返りシート、がんばりカード

CD デッキ

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1 課題を意識する。</p> <p>(1) 教師の話聞きながら、行事や日常の班活動で協力し合ってきたことを想起する。</p> <p>(2) 約束を確認する</p> <p>(3) 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 帰りの会で行っている「いいところみつけ」をふり返り、本時の学習につなげる。</p> <p>○ 授業での約束を確認し、みんなで「いいところ」を見つけるための学習に必要な約束であることを再認識させる。</p> <p>○ これから行う、「いいところみつけ」の説明をする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><めあて> 友だちのいいところを見つけよう。</p> </div>	
展開	<p>2 同じグループの友達のよいところを「いいところみつけ」シートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活動の手順</p> <p>① 自分のシートに名前を書く。</p> <p>② 自分の左隣の人にシートを渡す。</p> <p>③ シートの一番上に名前の人のおいところを書き、書いたところが隠れるようにシートを折り曲げる。</p> <p>④その紙をまた左隣の人に渡し、名前の人のおいところを書く。</p> <p>⑤これをくり返し、名前の人にシートが戻ってくるまで続ける。</p> <p>⑥一人当たり3分を目安に書く。</p> <p>⑦戻ってきたシートは、次の指示があるまで開かずに持つておく。</p> </div> <p>3 シートを読み上げ、紹介する。</p> <p>(1) 自分のシートを読む。</p> <p>(2) 発表用シートに書く。</p> <p>(3) 班ごとに立ってシートを読み上げ、紹介する。聞いている人は、一つの班が終わったら心をこめて拍手をする。</p> <p>(4) 全員が発表した後に、発表用のシートを班ごとに分けて黒板に貼る。</p>	<p>○ いいところ探しの視点として、帰りの会に出てきた項目を例示し、いろんな角度から友達のおいところを見つけられるようにする。</p> <p>○ 「いいところみつけ」シートを配布する。</p> <p>○ 書けない児童には、今まで書いてきた「がんばりカード」を参考にして、友達のおいところを書くように助言する。</p> <p>○ 掲示用「いいところシート」を使って④までの手順を丁寧に説明し、スムーズに活動できるようにする。</p> <p>○ 自分のシートを開いて、黙って読むように伝える。読んでいる子どもたちの表情を見つめる。(オルゴール曲を流す)</p> <p>○ 友達が書いた中から、「ぴったりだな。うれしいな。」と思ったものを一つ選び、「私は…と書いてもらいました。」とパターンを決めて書かせる。そのことにより、全員が発表できるようにし、一人一人の思いを共有させる。</p> <p>○ 黒板に貼ることで、クラス全体のおいところが、視覚的にとらえられるようにする。</p>
まとめ	<p>4 今後の生活に生かしていこうとする意欲をもつ。</p> <p>(1) ふり返りシートに感想をまとめる。</p> <p>(2) 発表する。</p>	<p>○ 黒板に貼った、自分たちのおいところを見ながら、友達のおいところ、自分のおいところをじっくりと認められるように、学習を振り返らせる。</p> <p>○ 個々の考えを認め、発表内容を誉めながら、実践への意欲を喚起させる。</p>